

[番組名] FMぐんま「あさナビ」

[放送日] 2013年1月11日

[テーマ] 2013年の県内の景気見通し

(アナウンサー) 2013年が始まって10日あまりが経ちました。この1年を見通す話題が多いこの時期、景気の回復を願う人も多いことと思いますが、今年の群馬県内の景気はどうなるのでしょうか。

日本銀行前橋支店の相良雅幸支店長に、県内景気の展望を伺いました。インタビューは、滝沢記者です。

(記者) 相良支店長よろしくお願ひ致します。群馬県内の今年の景気はどうなりそうでしょうか。

(相良支店長) 今年の群馬県内の景気は、基本的には改善の方向に向かうとみられます。ただ、その前提として、現状の為替・株式相場が今後も続くというのと、海外経済が緩やかに回復していくことが必要です。

(記者) 改善の方向ということで喜ばしいことだと思います。この年末年始、人と会われることも多かったと思いますが、いかがだったでしょうか。

(相良支店長) この年末年始は、新たな政権の経済対策への期待もあって、円安・株高が続きました。こうした相場の動きは、企業マインドの改善につながっており、新年早々から前向きな発言が県内のアチコチで聞かれています。「今後、公共投資の増加が見込まれることから、県内経済も様々な恩恵を受けるだろう」と建設業者を中心に期待感が高まっています。

このように、新年の滑り出しは順調ではありますが、県内には自動車関連をはじめ輸出製造業者が多いだけに、現状の為替相場が今後も続くのか、また、昨年後半に減速感を強めた海外経済が回復していくのか、という点が、県内経済を大きく左右すると思われます。

(記者) 注意すべきポイントもあるということですが、それを踏まえた上で、改善が進む時期はいつくらいになるのでしょうか。

(相良支店長) 早ければ春頃から改善の動きが出てくると期待されますが、現時点で、時期を明確に述べることは難しいと思われます。それは、まず公共投資の規模や内容、さらには工事発注の時期などが、現時点ではまだ明確でないことが挙げられます。新政権では、「無駄な公共投資は行わない」との方針で臨んでいますが、今後の予算対応や公共事業の内容、県内への事業配分などを点検しないと、判断しにくい状況です。

(相良支店長) また、県内製造業者の業況改善の時期についても、海外経済の回復のタイミングがはっきりしていないので、現段階では見通しが難しい状況です。各国が抱える様々な課題への対応次第だろうと思います。

(記者) 今後、特に注意してみていくべきポイントはありますか。

(相良支店長) 大きく分けて2点あると思います。まずは海外経済の動向です。堅調な米国経済は、減税措置の終了など「財政の崖」と呼ばれる問題への対応が経過措置付きで決まりましたが、まだ完全に決着がついたわけではありません。欧州では、債務問題の克服が中長期的な課題となる中で、改善の道筋が明確に描けていない状況です。中国では、個人消費は堅調ですが、欧州向け輸出の減少や素材産業における在庫調整などから経済の減速が長引いており、今後、安定した成長軌道へ移行できるかどうかが目玉されます。県内の輸出製造業者の業況がどうなるかは、まさに今後の海外経済の動向がカギとなります。

(記者) 1点目は、海外経済の動向ということですね。では2点目は何でしょうか。

(相良支店長) 2点目は、為替・株式相場の動向です。年末年始を挟んでの円安・株高は期待先行の面もありますので、今後の新政権が掲げる様々な政策の展開次第では、相場が変動する可能性があります。相場の変動は、企業・家計部門の消費・投資行動に影響を及ぼすため、新政権の舵取りと相場への影響について、しばらく目が離せないと思われます。

(記者) どうもありがとうございました。

(アナウンサー) 日本銀行前橋支店の相良支店長に、今年の景気の展望を伺いました。

海外経済の動向や、為替・株式相場の動向など、注意してみていくべき点はあるものの、今年、県内の景気は改善の方向に向かいそうだということでした。2013年、明るい年になって欲しいですね。

以 上